

第53回滋賀県公立小中学校事務研究大会

オリエンテーション



全体会Ⅰ

めざせウェルビーイング！

学びの環境をデザインしてみよう

湖北ブロック実行委員会

ウェルビーイングとは、心身の健康や幸福感、そして社会的なつながりが調和した状態です。令和5年6月に示された文部科学省第4期教育振興基本計画のコンセプトの中核に「ウェルビーイング」が据えられています。予測困難な時代において、みんなが幸せや生きがいを感じられるよう、教育の在り方にもアップデートが求められています。

また全事研の第4期学校事務のグランドデザインの中で年次別課題として「学びの環境整備」が掲げられています。子どもたちのウェルビーイングのために、事務職員ができる学びの環境整備にはどのようなことがあるのでしょうか？

全体会では、学びの環境整備を様々な切り口からアプローチし、事務職員がかかわった実践事例をとおして学びを深め、参加者のみなさんに「よし、やってみよう！」というウェルビーイングをお届けできたらと思っています。

全体会Ⅱ

事務職員のマネジメント力を活かした校務運営への関わり
～子どもも大人も笑顔輝くクリエイティブな学校へ～

滋賀県公立小中学校事務研究協議会 研究部

研究部では、子どもと大人の学びのため、学校の教育力の向上のために事務職員のマネジメント力を活かした校務運営への関わりが必要だと考え、研究を進めています。

「滋賀県公立小・中・義務教育学校事務職員の職階に応じた人材育成指標」でも、めざす学校事務職員像の一つに「学校運営体制の強化に向けてマネジメント力を有し、主体的に行動できる事務職員」が掲げられています。事務職員の総務・財務に通じる専門職としての強みを活かし「学びの環境整備」をコーディネートすることが、主体的に校務運営に参画することであると考えています。

研究を進めていくにあたり、「ウェルビーイング」「個別最適な学び・協働的な学び」「共同学校事務室（共同実施組織）」「地域協働」などの重要なキーワードが浮かび上がってきました。

研究大会ではキーワードに注目しながら、第57回全国公立小中学校事務研究大会滋賀大会の分科会発表に向けた研究の概要説明および実践事例の紹介、学びの環境整備のイメージ図の説明を行います。私たちの一步が大きな役割を担い未来を描いていけるよう、みなさんと学びを共有したいと考えています。

第1分科会

「た・か・し・ま Shin化論」PartIV



～持続可能な共同学校事務室をめざして～

高島市小中学校事務研究会

～高島市のとりくみ～『KGJGs』って？

高島市事務研では共同学校事務室を設置する際に、「持続可能な共同学校事務室」を実現するために必要な目標と、目標達成のための具体的な行動⇒「KGJGs(共同学校事務室 Goals)」を作成しました。

「私たちに今できることは？」「必要な力は何なのか？」を考えたとき、人材育成指標に基づいて事務職員自身のキャリア形成を図るためには事務職員の研修体系を整理する必要性があることを感じ、研究会でとりくむことにしました。

昨年度「初任者研修」からとりくみを始め、今年度はより実践に基づいた研究をすすめているところです。



～みなさんとともに～

『持続可能な共同学校事務室 その先にある未来の学校』 目まぐるしく変わる世の中、学校も時代とともに変わりつつあります。数年後はどんな学校になっているでしょうか？

未来の学校で私たち事務職員はどのような仕事をしているのでしょうか？みなさんとともに「未来の学びの環境」について語り合いたと思います。

第2分科会

学校財務をパワーアップ！

～子どもよし・保護者よし・教職員よし～

近江八幡市小中学校教育研究会 事務部会

「子ども」が輝き「人」が学び合い ふるさとに愛着と誇りをもち 躍動する 元気なまち 近江八幡…の基本理念のもと、12小学校児童4,562名、4中学校生徒2,181名のために教職員は日々奮闘中です。ふるさと応援基金もあり、今年度は小・中学校施設LED照明整備・子どもの居場所スペシャルサポートルームの設置など、教育委員会では学びの環境整備をすすめていただいています。

私たち研究会では、「予算委員会をボトムアップ」「学級会計から学年会計へアップデート」「学校徴収金のリスタート」の3つの取り組みから、三方（子ども・保護者・教職員）にとってより良い財務を展開します。私たちがお互い心理的安全性を保ちつつ、ウェルビーイングからウェルドゥーイングなワークライフを目指します。